

弥生製品を インストール しよう

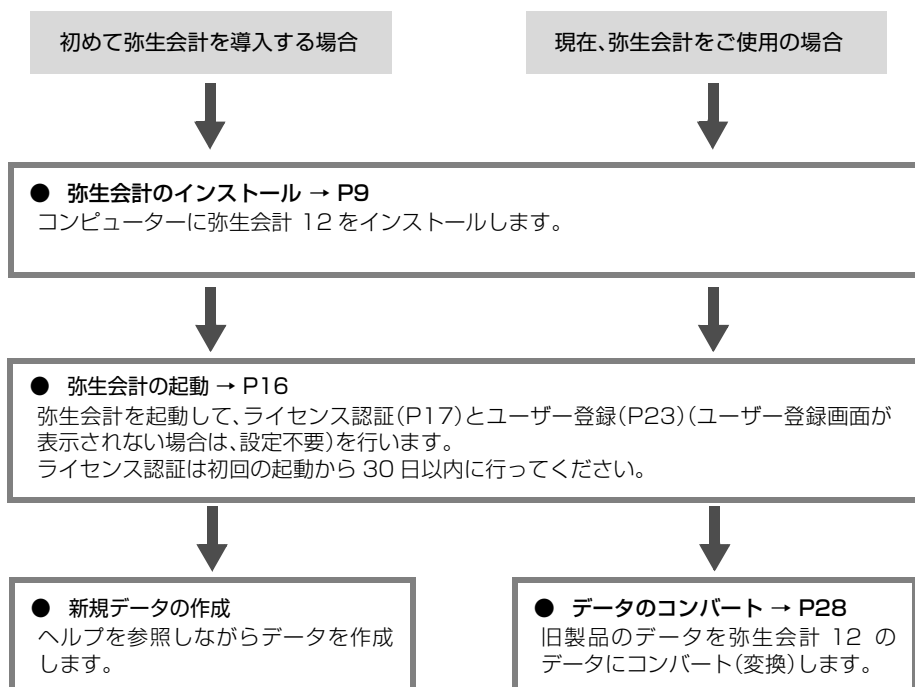
インストール・コンバートマニュアル

こんなときに
便利です!

製品のインストール、
アンインストール
方法を知りたい。

旧製品の
データを移行して
利用したい。

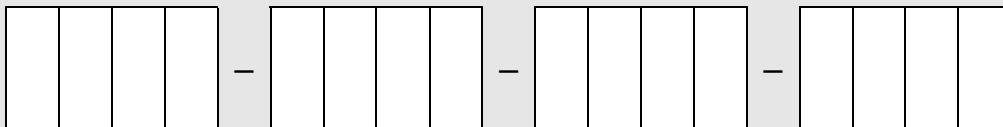
弥生会計 12 の導入フロー



● Microsoft Windows 7/Vista の OS をご使用の場合

インストールやコントロールパネルの操作など、OS に影響する操作を行うには管理者権限が必要となります。Microsoft Windows 7/Vista でこれらの操作を行う際に、「ユーザーアカウント制御」に関するメッセージが表示された場合は、メッセージ内容を確認し、[続行] ([はい]) または [実行] ボタンをクリックします。管理者アカウントのパスワードを要求された場合は、コンピューターの管理者にご確認ください。

● 弥生製品登録番号



「弥生製品登録番号」を転記してください。弥生製品登録番号は、下記の方法で確認することができます。

- 店頭で製品を購入されたお客様の場合
DVD-ROM のケースに記載されている「弥生製品登録番号」
- 弊社より発送した製品をご利用のお客様の場合
発送時同梱の「弥生製品登録番号」に記載した文書
- オンラインで入手された製品をご利用のお客様の場合
マイページ(<http://www.yayoi-kk.co.jp/ist/11/account/mypage.html>)

上記の入手方法のいずれの場合でも、ユーザー登録が完了している方は、マイページ(<http://www.yayoi-kk.co.jp/ist/11/account/mypage.html>)で弥生製品登録番号を確認することができます。

【重要】

弥生製品登録番号は、製品の初回起動時だけでなく、コンピューター移行時や再インストール時、次バージョンのインストール時にも必要となります。
大切に管理しておいてください。

【お断り】

- 本書および弥生会計のヘルプは、Microsoft Windows 7 の環境で作成しています。Microsoft Windows Vista や XP では、画面および表記等が異なることがあります。
- 本書の解説では、弥生会計 12 プロフェッショナルの画面を使用しています。スタンダードの場合は「プロフェッショナル」を「スタンダード」に、やよいの青色申告の場合は「プロフェッショナル」を「やよいの青色申告」に読み替えてください。

本書は、2011 年 9 月現在の製品仕様により作成しています。

そのため、本書の記載事項や画面などと、製品仕様が異なる場合も生じますことを、あらかじめご了承ください。

また、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、弊社にご連絡ください。

弥生製品のサポートは、サポート契約内容によって、サポート＆サービスの対象となる機能や環境が異なります。詳細は『サポート＆サービスガイド』でご確認ください。

『弥生』および『仕訳アドバイザー』は、弥生株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、SQL Server、Internet Explorer、Outlook、Excel、Silverlight は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe、Adobe Reader、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

本文中、® マークは明記しておりません。

第 1 章	弥生会計 12 のインストール	5
1	必要なハードウェアとソフトウェア	6
2	弥生会計のインストール	9
3	弥生会計の起動.....	16
4	ライセンス認証と認証解除	17
4-1	ライセンス認証について	17
4-2	ライセンス認証を行う	17
4-3	ライセンス認証の解除を行う	21
5	ユーザー登録.....	23
6	MoneyLook のインストール.....	24
7	導入アドバイザー	25
第 2 章	旧製品からの移行	27
1	コンバートの概要.....	28
1-1	コンバート対象製品	28
2	旧製品データのコンバート	29
2-1	弥生会計 12 データへの変換	29
3	分散入力用データのコンバート.....	33
第 3 章	プログラムの修復と削除	35
1	プログラムの修復と削除	36
1-1	弥生会計または付属プログラムの修復	36
1-2	弥生会計または付属プログラムの削除	38

1

弥生会計 12 のインストール

弥生会計 12 をお使いのコンピューターにインストールします。

この章では、弥生会計 12 のインストールと、付属ツールのインストールについて説明します。

1 必要なハードウェアとソフトウェア	6
2 弥生会計のインストール	9
3 弥生会計の起動	16
4 ライセンス認証と認証解除	17
5 ユーザー登録	23
6 MoneyLook のインストール	24
7 導入アドバイザー	25

1 必要なハードウェアとソフトウェア

弥生会計をインストールする前に、必要なハードウェアやソフトウェア、およびインストール方法を確認してください。

日本語 OS	Microsoft Windows 7/Vista/XP ※インターナショナル版・日本語ランゲージパックは動作対象外となります。	
Web ブラウザー	Microsoft Internet Explorer 7.0 以降必須	
対応機種 (パソコン本体)	上記日本語 OS が稼動するパーソナルコンピューター インテル Pentium III 1GHz以上(Pentium 4 1.6GHz 以上を推奨)または同等の性能を持つプロセッサ	
メモリ	Windows 7	1GB 以上(32 ビット) / 2GB 以上(64 ビット)
	Windows Vista	1GB 以上
	Windows XP	512MB 以上(1GB 以上を推奨)
ディスプレイ	本体に接続可能で、上記日本語 OS に対応したディスプレイ 解像度: 1024×768 以上必須、High Color(16 ビット)以上を推奨	
ディスクドライブ	DVD-ROM ドライブ必須	
ハードディスク	必須空き容量 260MB 以上(データ領域は別途必要) ※インストール時や製品動作時にはシステムドライブに一時ファイル領域が必要になります。	
マウス/キーボード	上記日本語 OS で使用可能なマウス/キーボード	
日本語入力システム	上記日本語 OS に対応した日本語入力システム ※対応している文字コードは、JIS コードの第一水準と第二水準です。 その他の文字コードについては、代替文字または、ひらがなでご入力ください。	
プリンター	上記日本語 OS に対応したプリンター ※インクジェットプリンターについては機種および使用できる専用紙に一部制限があります。ドットインパクトプリンターの場合は 15 インチ連続用紙が使用できるプリンターが必要です。	
動作に必要なソフトウェア	本製品の動作には、Windows Installer 3.1 以降、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が必要です。インストール済みでない場合は本製品のインストール時に同時にインストールされ、300MB 以上の空き容量が別途必要になります。Windows Installer 3.1 のインストール時に、再起動が必要になる場合があります。なお、「仕訳アドバイザー」を利用するには Microsoft Silverlight 4.0 以降が必要です。	

その他	<ul style="list-style-type: none"> • 日本語 OS について Windows 7 と表記されているものは、Windows 7 Ultimate / Enterprise / Professional / Home Premium / Starter (SP1 含む)の略称です。 Windows Vista と表記されているものは、Windows Vista Ultimate / Enterprise / Business / Home Premium / Home Basic SP2 以降(32 ビット版のみ)の略称です。 Windows XP と表記されているものは、Windows XP Professional / Home Edition SP3 以降(32 ビット版のみ)の略称です。 • 64 ビット OS での動作について Windows Vista、Windows XP は 64 ビット版には対応しておりません。 Windows 7(64 ビット)では、WOW64 の環境で動作します。 • Excel への書き出し機能を利用する場合<プロフェッショナル、スタンダードのみ> 集計表などのデータを Excel に書き出す場合は、Microsoft Excel 2003以降が別途必要になります。 • データ送受信機能を利用する場合<プロフェッショナル、スタンダードのみ> 事業所データを電子メールに添付して送信する場合には、Microsoft Outlook 2003 以降または、Windows メール、Windows Live メールのうちいずれかが、通常使用する電子メールのプログラムとして設定されている必要があります。 ※Microsoft Outlook Express は対応しておりません。 • 導入アドバイザーを利用する場合 導入アドバイザーを「オートモード」(音声あり)で利用する場合には音声を再生できる環境が必要です。 • インターネット環境について インターネットに接続できる環境が必要です。 • ネットワーク環境について ネットワーク(マルチ)での運用には対応しておりません。
-----	---

- 詳細については弊社カスタマーセンターへお問い合わせください。
- 弥生会計を使用するには、次のユーザー権限が必要です。
Windows XP で使用する場合：制限ユーザー(Users グループ)以上
Windows Vista で使用する場合：標準ユーザー(Users グループ)以上
Windows 7 で使用する場合：標準ユーザー(Users グループ)以上
- 仕訳の推奨処理データ量は年間最大 100,000 仕訳行数(履歴を含む)です。



印刷に関する注意

弥生会計で印刷を行った際に以下のような現象が発生した場合、お使いのプリンターまたは、プリンタードライバーが原因の可能性あります。最新のプリンタードライバーを入手してください。詳細はプリンターのマニュアルを参照するか、プリンターメーカーにお問い合わせください。

- 罫線が欠落する、または罫線がずれる
- 網かけが途中で途切れる、または塗りつぶされる
- 特定の箇所だけ印字されずに抜けてしまう
- 特定の文字列で文字化けが起こる
- 印字位置がずれて次ページに送られてしまう

ネットワーク上のプリンターを利用する場合の設定方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。

PDF ファイルの作成には「Microsoft XPS Document Writer」が必要です

印刷ダイアログで「PDFファイルの作成」を選択してPDFを作成するには、プリンターの一覧に「Microsoft XPS Document Writer」が登録されている必要があります。「Microsoft XPS Document Writer」がない場合は「プリンターの追加」で追加してください。プリンターの追加方法については Windows のヘルプを参照してください。

2 弥生会計のインストール

コンピューターに「弥生会計 12」をインストールします。



弥生オンラインアップデートから弥生会計 12 をインストールした場合
弥生会計の終了時に表示される [弥生オンラインアップデート] ダイアログ
から弥生会計 12 をインストールした場合は、DVD-ROM から弥生会計を
インストールしていただく必要はありません。(「弥生会計のインストール」
の作業は不要です。)
弥生会計 12 がインストールされているかどうかの確認は、[ヘルプ]メ
ニューの[バージョン情報]をクリックして表示される[バージョン情報]ダ
イアログの[バージョン情報]で確認できます。

インストールする前に

弥生会計をインストールする前に、次の項目を確認してください。

- **ハードディスクの空き容量**

ハードディスクの空き容量が 260MB 以上必要(データ領域は別途必要)で
す。なお、Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 をインストールする場
合は、別途 300MB 以上の空き容量が必要になります。空き容量が足りない場
合は、不要なファイルを削除するなどして空き容量を確保してからインスト
ールしてください。

- **インストールするユーザーの権限**

インストールするコンピューターの管理者権限を持っている方がインスト
ールしてください。

- **現在、弥生会計を使用している場合**

弥生会計 12をインストールしても、現在使用中のデータが削除されることは
ありません。

ただし、インストール中のトラブルに備えて、インストール前に現在使用し
ているデータのバックアップファイルを作成してください。バックアップファ
イルの作成方法については、ご使用の製品のマニュアルを参照してください。



「新しい製品が既にインストールされています。」と表示された場合
インストール時に「このセットアップより新しい製品が既にインストール
されています。インストールすることはできません」と表示された場合は、
現在インストールされている『弥生会計 12』または『やよいの青色申告
12』をアンインストール(削除)してから、再度本製品のインストールを実
行してください。アンインストール(削除)方法については、「弥生会計また
は付属プログラムの削除」(P38)を参照してください。

弥生会計 12 インストールランチャー

DVD-ROM ドライブに弥生会計のDVD-ROMをセットすると、[弥生会計 12 インストールランチャー]が表示されます。弥生会計はこの画面からインストールします。

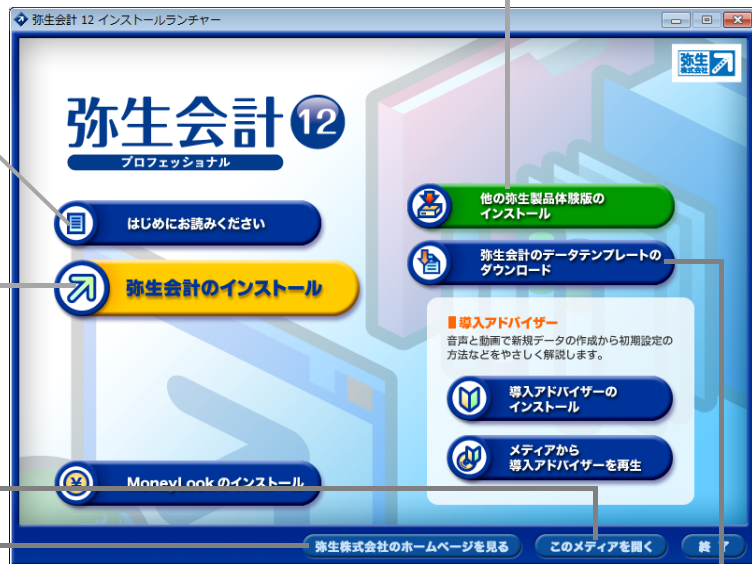
弥生 12 シリーズの体験版のインストール画面が表示されます。

インストール前の注意事項などが表示されます。インストールする前にお読みください。

弥生会計のインストールが開始されます。

DVD-ROM の内容が表示されます。

インターネットに接続できる状態であれば、弊社ホームページをご覧ください。



業種ごとに用意されたデータテンプレートを弥生ホームページからダウンロードできます。



メモ

[弥生会計 12 インストールランチャー]が自動で表示されない場合

次の手順でインストールランチャーを表示してください。

- 1.Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[コンピューター] (または[マイコンピュータ])をクリックします。
- 2.弥生会計 12 の DVD-ROM をセットしたドライブのアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックします。
- 3.[Start] ファイルをダブルクリックします。

☞ 弥生会計 12 をインストールする

インストールを始める前に、すべてのプログラムを終了してください。特に、常駐プログラムが動作していると、正しくインストールできないことがあります。

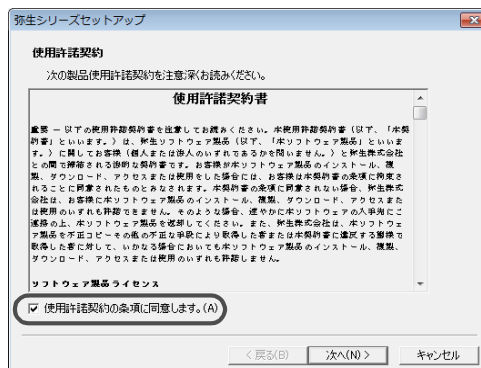
1. DVD-ROM ドライブに弥生会計の DVD-ROM をセットします。
[弥生会計 12 インストールランチャー]が表示されます。
2. [弥生会計のインストール]をクリックします。
3. 表示された[弥生シリーズセットアップ]画面で、[インストール開始]ボタンをクリックします。
表示される項目は、コンピューターの OS や環境により異なります。



再起動を促すメッセージが表示された場合

インストールの途中で再起動を促すメッセージが表示された場合は、DVD-ROM を取り出さずに指示に従って再起動し、インストール開始時と同じユーザーで Windows にログインしてください。ログイン後は[弥生シリーズセットアップ]画面が自動的に表示されるので、[インストール開始]ボタンをクリックして、インストールを再開します。

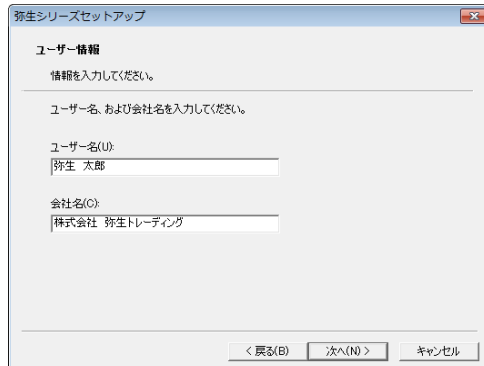
4. 使用許諾契約内容を確認し、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



5. ユーザー名と会社名を入力して、[次へ] ボタンをクリックします。

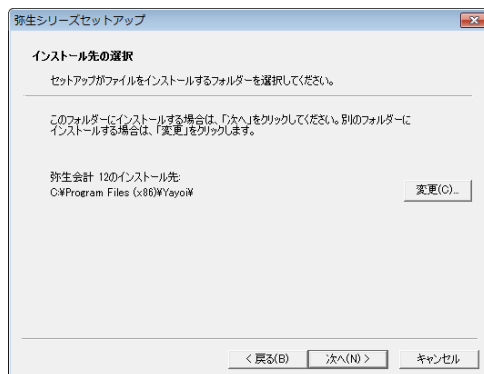
両方の入力が必要です。

ここで入力するユーザー名と会社名はインストールで必要となる情報です。弥生会計のデータでは使用されません。



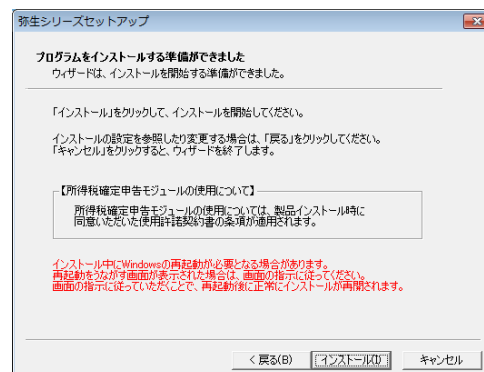
6. 弥生会計をインストールする場所(フォルダー)を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。

インストール先を変更する場合は、[変更] ボタンをクリックしてインストールする場所を選択します。



7. [インストール] ボタンをクリックしてインストールを開始します。

.NET Framework 3.5 SP1 をインストールする場合、インストールが完了するまで 30 分程度かかる場合があります。



8. メッセージ「引き続き、導入アドバイザーをインストールしますか？」が表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。



導入アドバイザーのインストールが不要な場合

導入アドバイザーは、事業所データの新規作成から日常業務の開始までを動画と音声でご案内するツールです。導入アドバイザーのインストールが不要な場合は、次の手順で操作します。この操作を行っても、弥生会計のインストールは正常に完了しています。

メッセージ「引き続き、導入アドバイザーをインストールしますか？」で「いいえ」ボタンをクリックします。

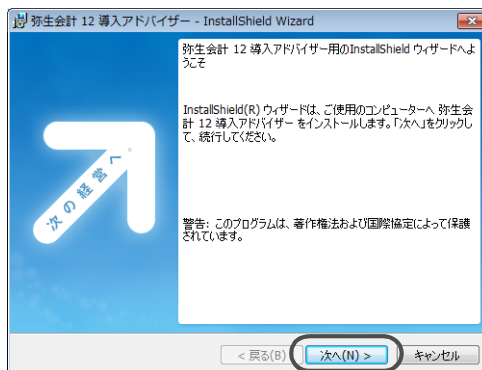
[弥生シリーズセットアップ]画面に戻るので、[キャンセル]ボタンをクリックします。

メッセージ「インストールを中止しますか？」が表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。

導入アドバイザーは、弥生会計 12 インストールランチャーから、いつでもインストールできます。

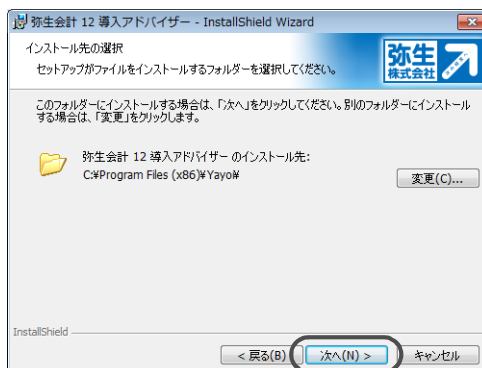
→導入アドバイザー(P25)

9. 表示された「ようこそ」画面で、[次へ]ボタンをクリックします。

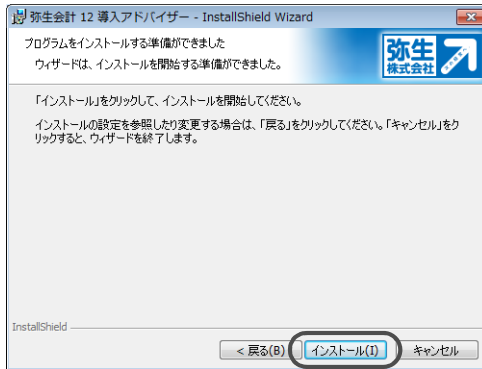


10. 導入アドバイザーをインストールする場所(フォルダー)を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストール先を変更する場合は、[参照]ボタンをクリックしてインストールする場所を選択します。

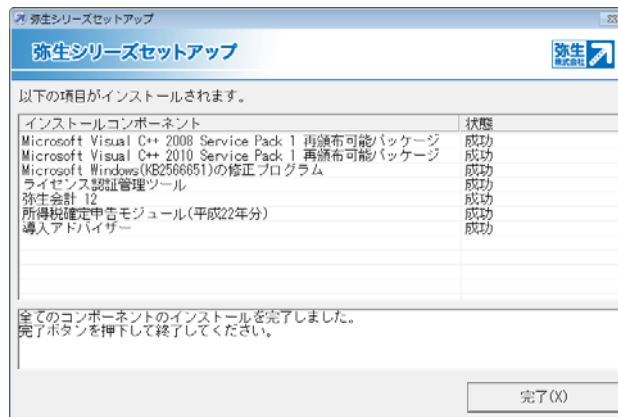


11. 設定内容を確認して、[インストール] ボタンをクリックします。
導入アドバイザーがインストールされます。



12. インストールが終了したら、ウィザードの完了画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。

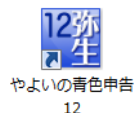
13. [弥生シリーズセットアップ] 画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。
再起動を促す画面が表示された場合は、必ず再起動してください。



14. DVD-ROM ドライブから DVD-ROM を取り出します。

インストールが終わったら、必ず[弥生シリーズセットアップ]画面を閉じてから DVD-ROM ドライブから DVD-ROM を取り出してください。

インストール後、デスクトップに以下のいずれかのアイコンが作成されます。





最初の起動時に行う設定が終わった後は

最初の起動時に行うライセンス認証(P17)やユーザー登録(P23)(ユーザー登録画面が表示されない場合は、設定不要)が終わった後は、事業所データの作成やコンバートを行います。

<初めて弥生会計を使用する方>

弥生会計のデータ(事業所データ)を作成します。ヘルプを参照してください。

<バージョンアップユーザーの方>

現在ご使用の弥生会計のデータは、コンバートして弥生会計 12 で使用することができます。

→旧製品データのコンバート(P29)

3 弥生会計の起動

弥生会計の起動

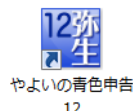
弥生会計は、Windows の[スタート]メニュー、またはインストール時に作成されるショートカットアイコンから起動します。

● [スタート]メニューから起動

Windows の[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]を選択し、[弥生シリーズ]-[弥生会計 12]-[弥生会計 12] (または[やよいの青色申告 12])をクリックします。

● ショートカットアイコンから起動

デスクトップに作成されている弥生会計のショートカットアイコンをダブルクリックします。



弥生会計を初めて起動した場合

必要に応じて次の画面が表示されます。また、最初は起動に時間がかかることがあります。

- [ライセンス認証]画面(P17)
- ユーザー登録画面(P23)
- データコンバータ(旧製品をご使用の場合のみ)(P29)

セキュリティソフトの警告メッセージが表示される場合

弥生会計の起動時にセキュリティソフトの警告メッセージが表示された場合は、弥生製品に関するプログラムの通信を許可してください。

許可するプログラムについては、『はじめにお読みください』の「セキュリティプログラムの通信許可の設定」を参照してください(Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]-[弥生シリーズ]-[弥生会計 12]-[はじめにお読みください]をクリックして表示)。

4 ライセンス認証と認証解除

4-1 ライセンス認証について

弥生会計をご使用いただくには、正規の製品であることを確認する必要があります。ライセンス認証は、不正利用を防止する技術で、弥生会計が正規にライセンスされたソフトウェアであることを確認するためのものです。また、1 台のコンピュータにつき 1 つのライセンスが必要です。ライセンス認証の手続きは、弥生会計の初回起動時から 30 日以内に行ってください。

弥生会計のインストール後にライセンス認証を行わないと、以下の制限が発生します。

- 初回起動時から 30 日が経過すると、弥生会計を使用できなくなります。
- 起動時に[ライセンス認証]画面が毎回表示されます。
- [決算・申告]メニューの機能が使用できません。

30 日を経過した場合でも、起動時に表示される[ライセンス認証]画面でライセンス認証を行うことにより、引き続き弥生会計を使用することができますが、ライセンス認証はインストール後すぐに行うようにしてください。



コンピューターを買い替える場合などには認証解除を行ってください。弥生会計をアンインストール(削除)する場合だけでなく、不具合などによりコンピューターをフォーマットする場合や、買い替えなどによりコンピューターを入れ替える場合も事前にライセンス認証の解除が必要です。解除を行ってから製品のアンインストール(削除)やフォーマット、新しいコンピューターへの入れ替えを行ってください。

→ライセンス認証の解除を行う(P21)

4-2 ライセンス認証を行う

ライセンス認証では、ライセンス認証サーバーへの接続のため、インターネットへの接続確認を必ず行います。インターネットを利用していない場合は、接続確認を行った後に表示される画面を経て、インターネットを使わない方法でライセンス認証を行うこともできます。

→インターネットに接続できない場合(P20)



ライセンス認証管理ツールでライセンス認証を行う

弥生製品のライセンス認証は、Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [弥生シリーズ] - [ライセンス認証管理ツール]をクリックすると表示されるライセンス認証管理ツールでも行うことができます。ライセンス認証管理ツールでは、複数の弥生製品のライセンス認証を、連続的に行うこともできます。

👉 ライセンス認証を行う

1. [ライセンス認証]画面で[ライセンス認証を開始する]ボタンをクリックします。

弥生製品登録番号の入力画面が表示されます。



弥生会計 11 がインストールされている場合

弥生会計 11 がインストールされている場合は、弥生製品登録番号などの情報を引き継ぎ、入力画面を表示せずにインターネットへの接続を行います。引き継いだ情報でライセンス認証が行えない場合は、改めて入力画面が表示されます。

2. 弥生製品登録番号などを入力します。

番号の確認方法は、入力欄の下に表示されます。ユーザー登録済またはあんしん保守サポート加入済の場合は、マイページ(<http://www.yayoi-kk.co.jp/ist/11/account/mypage.html>)で確認できます。

弥生会計の弥生製品登録番号を入力し、正しい番号であることが確認されると、「製品シリアル番号」の入力画面、「お客様番号」の入力画面、「入手方法の選択」画面のいずれかが表示されます。

入手方法の選択画面が表示された場合は、画面の説明を確認し、入手方法を選択すると選択に応じて、「製品シリアル番号」の入力画面または「お客様番号」の入力画面が表示されます。



⚠️が表示された場合

入力した番号に誤りがあると、入力欄が赤くなり、⚠️と説明文が表示されます。この場合は、入力内容を再確認してください。

3. [処理を開始する]ボタンをクリックします。

必要な情報をすべて入力すると[処理を開始する]ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、インターネットへの接続確認を行った上でライセンス認証サーバーに接続し、ライセンス認証が行われます。

ライセンス認証 (弥生会計 12) Ver 4.0.0

弥生製品登録番号 ✓

製品シリアル番号 ✓

ライセンス認証の処理を開始する前に、製品登録番号と製品シリアル番号を再確認してください。再確認が終わったら、[処理を開始する] ボタンをクリックしてください。

処理を開始する

場合により、画面に表示される項目は異なります。

4. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。

「ライセンス認証の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

ライセンス認証 (弥生会計 12) Ver 4.0.0

① ライセンス認証の手続きが完了しました

ライセンス認証を行っていただきましてありがとうございました。手続きが正常に完了しました。[画面を閉じる] ボタンをクリックすると、ライセンス認証の画面を閉じます。

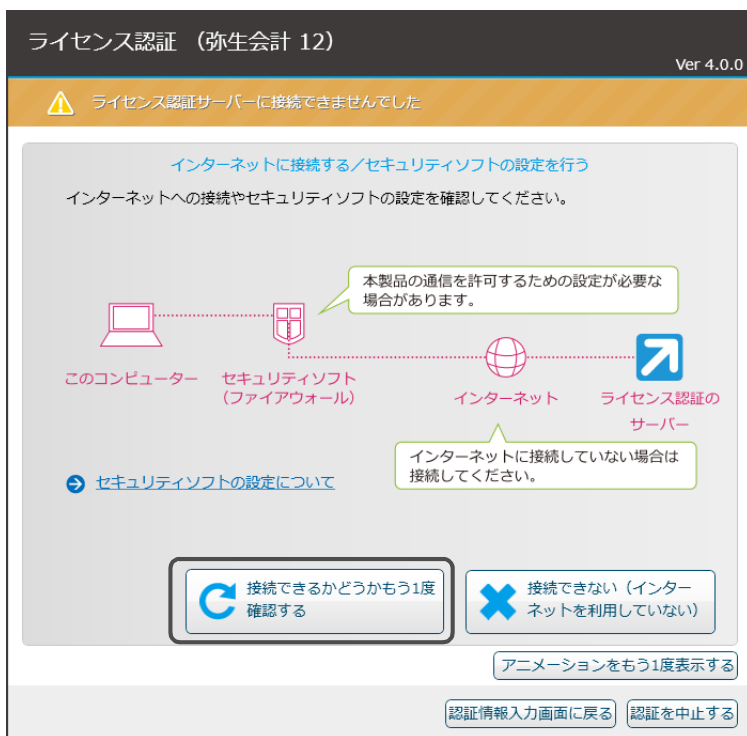
画面を閉じる

弥生会計 12のライセンス認証を完了して画面を閉じる場合は、左のボタンをクリックしてください。



インターネットに接続できない場合

ライセンス認証は、インターネットを通じてライセンス認証サーバーに接続します。サーバーに接続できない場合、[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面が表示されるので、画面の説明に従って、インターネットへの接続やセキュリティソフトの設定の確認を行い、[接続できるかどうかもう1度確認する]ボタンをクリックします。



[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合

[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面で[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合、認証方法を選択する画面が表示されます。画面の説明を参考に、認証方法を選択してください。

4-3 ライセンス認証の解除を行う

弥生会計をアンインストール(削除)する場合には、事前にライセンス認証の解除が必要です。解除を行う前に弥生会計をアンインストール(削除)すると、別のコンピュータで弥生会計を使用できなくなります。

ライセンス認証の解除が必要なケース

ライセンス認証の解除は、以下のような場合に行います。これらの作業を行う前にライセンス認証の解除を行ってください。

- 弥生会計をアンインストール(削除)する場合
- コンピューターを買い替えて、弥生会計を新しいコンピュータにインストールする場合
- 弥生会計を他のコンピュータにインストールし直す場合
- Windows を再インストール(またはリカバリ)する場合
- コンピューターをフォーマット(初期化)する場合

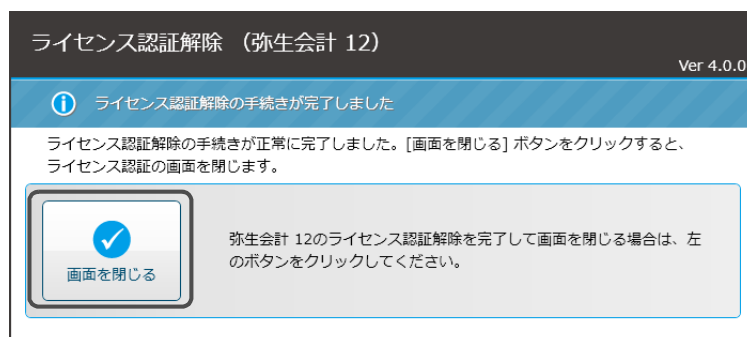
ライセンス認証の解除を行う



ライセンス認証を解除する前に

ライセンス認証の解除を行うと、弥生会計を使用できなくなります。ライセンス認証の解除を行う前には、事業所データのバックアップなど必要な作業を行ってください。

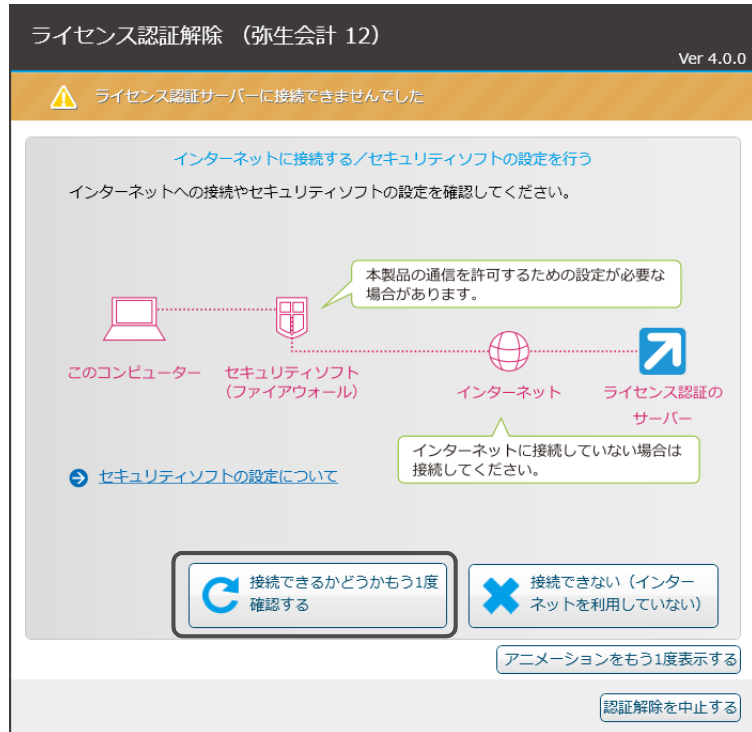
1. Windows の[スタート]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]－[弥生シリーズ]－[弥生会計 12]－[ライセンス認証解除]をクリックします。
[ライセンス認証解除]画面が表示されます。
2. [ライセンス認証を解除する]ボタンをクリックします。
ライセンス認証サーバーに接続し、ライセンス認証解除が行われます。
3. [画面を閉じる]ボタンをクリックします。
「ライセンス認証解除の手続きが完了しました」と表示されたら、[画面を閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じてください。





インターネットに接続できない場合

ライセンス認証解除は、インターネットを通じてライセンス認証サーバーに接続します。サーバーに接続できない場合、[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面が表示されるので、画面の説明に従って、インターネットへの接続やセキュリティソフトの設定の確認を行い、[接続できるかどうかもう1度確認する]ボタンをクリックします。



[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合

[ライセンス認証サーバーに接続できませんでした]画面で[接続できない(インターネットを利用していない)]ボタンをクリックした場合、認証解除方法を選択する画面が表示されます。画面の説明を参考に、認証解除方法を選択してください。

5 ユーザー登録

ユーザー登録が行われていない場合、ライセンス認証完了後や弥生会計の起動後にユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録は、インターネットへ接続できる場合はインターネットで、接続できない場合は電話やFAXで行うことができます。弥生製品を複数ご利用の場合は、製品ごとにユーザー登録が必要です。

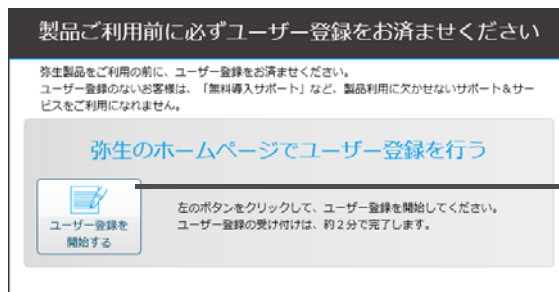


ユーザー登録が不要な場合

弥生ストアで購入した製品や、あんしん保守サポートによって入手した製品をお使いの場合は、ユーザー登録が必要ありません。

👉 ユーザー登録を行う

1. 弥生会計を起動します(P16)。
ユーザー登録画面が表示されます。
※ [弥生ライセンス認証]画面が表示された場合は、ライセンス認証の手続きを行ってください(P17)。
2. 画面の指示に従って、インターネットでユーザー登録を行います。



「ユーザー登録を開始する」ボタンをクリックして、インターネットで登録します。

ユーザー登録完了後には、お客様番号などが発行され、「登録完了のお知らせ」が通知されます。



インターネットに接続していない場合

インターネットに接続していないなどの理由で弥生のサーバーに接続できない場合、ユーザー登録の状態が確認できないため、ユーザー登録画面が一定回数の起動時に表示されます。また、この場合はユーザー登録画面に電話またはFAXでユーザー登録を行う方法の案内が表示されます。

6 MoneyLook のインストール

弥生会計のDVD-ROMから、「MoneyLook for 弥生」をインストールすることができます。

「MoneyLook for 弥生」は、銀行の電子明細を取得して、弥生会計で取り込み可能な形式で書き出すことのできるツールです。

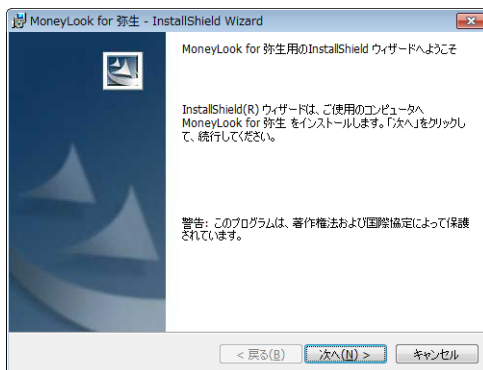
MoneyLook については、ヘルプの目次から付録の章を参照してください。

☞ MoneyLook をインストールする

1. DVD-ROM ドライブに弥生会計の DVD-ROM をセットします。
[弥生会計 12 インストールランチャー]が表示されます。
2. [MoneyLook のインストール]をクリックします。
インストール画面が表示されます。



3. [次へ] ボタンをクリックしてウィザードを次の画面に進めます。
以降は、ウィザードの指示に従ってインストールします。



7 導入アドバイザー

導入アドバイザーは、事業所データの新規作成から日常業務の開始までを動画と音声でご案内します。弥生会計 12のDVD-ROMから直接再生することができますが、ハードディスクにインストールすればいつでも再生することができます。

ハードディスクにインストールする

導入アドバイザーをインストールするためには、ハードディスクの空き容量が30MB以上必要です。

☞ 導入アドバイザーをインストールする

1. 起動しているすべてのプログラムを終了します。
特に、常駐プログラムが動作していると、正しくインストールできない場合があります。
2. DVD-ROM ドライブに弥生会計 12 の DVD-ROM をセットします。
[弥生会計 12 インストールランチャー]が表示されます。
3. [導入アドバイザーのインストール]をクリックします。

導入アドバイザーをハードディスクにインストールします。

DVD-ROM から直接導入アドバイザーを再生します。



4. 表示される画面の指示に従って、導入アドバイザーをインストールします。
5. インストールが終了したら、[弥生シリーズセットアップ]画面が表示されるので、[完了]ボタンをクリックします。

インストールした導入アドバイザーは、次のいずれかの方法で再生できます。

- デSKTOPの[弥生会計 12 導入アドバイザー]アイコンをダブルクリックする。
- Windows の[スタート]ボタンをクリックしてスタートメニューを表示し、[すべてのプログラム] - [弥生シリーズ] - [弥生会計 12] - [弥生会計 12 導入アドバイザー]をクリックする。

DVD-ROM から再生

[弥生会計 12 インストールランチャー]の[メディアから導入アドバイザーを再生]をクリックすると、導入アドバイザーが再生されます。

2

旧製品からの移行

旧製品の弥生会計のデータを弥生会計 12 で使用するには、データをコンバート(変換)する必要があります。

この章では、旧弥生会計製品のデータをコンバートする手順について説明します。

1 コンバートの概要	28
2 旧製品データのコンバート	29
3 分散入力用データのコンバート	33

1 コンバートの概要

既に弥生会計製品をご使用の場合は、旧製品のデータを弥生会計 12 にコンバート(変換)することで、引き続き使用することができます。

1-1 コンバート対象製品

弥生会計 11、弥生会計 10、弥生会計 09 の下記の製品からコンバートできます。データファイルの他、バックアップファイルをコンバートすることもできます。

- 弥生会計プロフェッショナル
- 弥生会計スタンダード
- やよいの青色申告



メモ

コンバートデータのファイル名の前後に空白が含まれる場合

コンバートするデータファイル、またはバックアップファイルのファイル名の前後に空白(スペース)が含まれる場合はデータを認識できないためエラーとなり、コンバートできません。ファイル名の前後の空白を削除してからコンバートしてください。

分散入力機能を使用している場合(やよいの青色申告には、この機能はありません)

分散入力データはコンバートできません。そのため、すべての分散入力データを元データ(作成元の会計データ)に取り込んでから元データをコンバートします。分散入力機能を使用している場合のコンバートは「分散入力用データのコンバート」(P33)を参照してください。

2 旧製品データのコンバート

コンバート後のデータは新しいデータとして保存されます。コンバート元の会計データが消去されたり、変更されることはありません。

コンバートできる旧製品は弥生会計 09 以降の弥生会計です。P28 を参照してください。



コンバートできない項目

[決算書作成] ダイアログから表示する [印刷] ダイアログで、コンバート前のデータで設定した印刷の書式などは移行されません。決算書の作成時に確認してください。

2-1 弥生会計 12 データへの変換

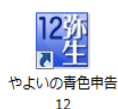
☞ 弥生会計 09 以降の事業所データをコンバートする

1. 弥生会計を起動します。

弥生会計を起動するにはデスクトップに作成されている [弥生会計 12] (または [やよいの青色申告 12]) アイコンをダブルクリックします。



弥生会計 12



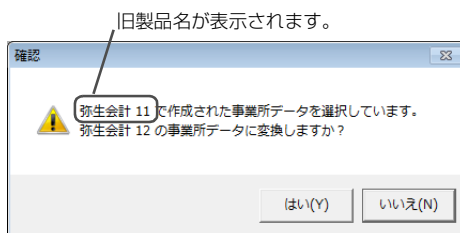
やよいの青色申告
12

弥生会計の起動については、「弥生会計の起動」(P16) を参照してください。



弥生会計 09 以降がインストールされている場合

弥生会計 09 以降がインストールされているコンピューターに弥生会計 12 をインストールした場合は、弥生会計 12 を初めて起動したときに、旧製品の弥生会計で最後に開いていた事業所データをコンバートするかどうかの確認メッセージが表示されます。



コンバートする場合は、[はい] ボタンをクリックするとコンバータが起動して手順 5 に進みます。

2. [ファイル]メニューの[開く]をクリック、またはクイックナビゲータの[事業所データ]タブ(または[スタート]タブ)の[データの選択]をクリックします。
[事業所データの選択]ダイアログが表示されます。

3. [バージョン]でコンバート対象となる製品にチェックを付け、[データ種別]で変換するデータの種類の事業所データ、またはバックアップファイルから選択します。

条件に該当する事業所データが表示されます。



目的のデータが表示されない場合

目的のデータが表示されない場合は、[参照先の設定]ボタンをクリックして、[参照先の設定]ダイアログを表示します。[フォルダーを追加]をクリックして、データの保存先を選択します。保存場所の初期値は、次のとおりです。

< Windows 7/Vista(システムドライブがCドライブの場合)>

C:\¥ユーザー(Users)\¥ユーザー名¥ドキュメント(Documents)\¥Yayoi¥弥生会計 XX データフォルダ

< Window XP (システムドライブがCドライブの場合)>

C:\¥Documents and Settings¥ユーザー名¥マイドキュメント(My Documents)\¥Yayoi¥弥生会計 XX データフォルダ

※「XX」には、該当する製品バージョンが入ります。

4. コンバートする事業所データを選択して、[開く]ボタンをクリックします。データコンバータが起動します。
5. [次へ]ボタンをクリックして次の画面に進めます。

6. コンバートするデータを確認し、問題がなければ[次へ]ボタンをクリックします。

データコンバータ

データの確認

この事業所データを実換してよろしいですか？

事業所データの確認	
事業所名	株式会社 弥生トレーディング
第 26 期(H20/04/01 ~ H21/03/31)	
会計期間	第 27 期(H21/04/01 ~ H22/03/31)
第 28 期(H22/04/01 ~ H23/03/31)	
データ保存場所	C:\¥Yayo¥弥生会計11データフォルダ
事業所データ名	株式会社 弥生トレーディング KD11
コンバート元旧製品	弥生会計 11

他の事業所データを実換する場合は、[ファイル]メニューの[開く]をクリックして、実換する事業所データを選択してください。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7. <法人の場合>（やよいの青色申告には、この機能はありません）
中間決算整理仕訳の入力作業をするかどうかを選択します。

この設定は、コンバート後に変更することはできません。

※ 下図は、コンバートするデータが既に「中間決算整理仕訳を行う」と設定されている場合は表示されません。

データコンバータ

中間決算整理仕訳の設定

中間決算整理仕訳を行いますか？
中間決算整理仕訳の設定はデータの実換後に変更することはできません。

中間決算整理仕訳を行う(Y)

中間決算整理仕訳を行わない(O)

「中間決算整理仕訳を行う」に設定した場合は、決算整理仕訳を「本決算」「中間決算」で区別して入力できます。また、集計表では「本決算」「中間決算」ごとの集計を行うことができます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8. コンバート後のデータの保存場所と事業所データ名を設定します。

データコンバータ

保存先の設定

事業所データの保存場所と事業所データ名を設定します。
データの保存場所を変更する場合は、[参照(S)]ボタンをクリックします。

保存場所: C:\Users¥弥生 太郎¥Documents¥Yayo¥弥生 参照(S)

事業所データ名(D): 株式会社 弥生トレーディング

表示されている保存場所を変更する場合は、クリックして保存先を選択します。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

9. 設定内容を確認し、問題がなければ[開始] ボタンをクリックします。
修正する場合は、[戻る] ボタンをクリックして修正する項目の画面まで戻ります。

データコンバータ

設定内容の確認

事業所データを以下の内容で弥生会計 12 の事業所データに変換します。内容を確認して [開始] ボタンをクリックしてください。内容を変更する場合は [戻る] ボタンをクリックします。

設定内容の確認	
事業所名	株式会社 弥生トレーディング
勘定科目体系	法人/一般、製造原価あり
会計期間	第 26 期(H20/04/01 ~ H21/03/31)
	第 27 期(H21/04/01 ~ H22/03/31)
	第 28 期(H22/04/01 ~ H23/03/31)
データ保存場所	C:_Yayoitrading\弥生会計12データフォルダ
事業所データ名	株式会社 弥生トレーディング

< 戻る(B) 開始 キャンセル

10. コンバートの完了画面が表示されたら、[終了] ボタンをクリックします。
引き続き他の事業所データをコンバートする場合は、[継続] ボタンをクリックして手順 4 からの操作を行ってください。

3 分散入力用データのコンバート

<やよいの青色申告には、この機能はありません>

分散入力用のデータは、弥生会計 12 に直接コンバートすることはできません。分散入力機能を使用している場合は、次の手順でコンバートをしてください。

1. 分散入力データを元データにすべて取り込みます。
2. 元データを弥生会計 12 にコンバートします。
3. コンバートしたデータで分散入力用データを作成します。

1. 《旧製品》分散入力データを元データに取り込む

分散入力用データで入力した仕訳データを、すべて元データに取り込みます。操作手順は、旧製品の『操作マニュアル』を参照してください。

1. すべての分散入力用データで、差分データを送信します。
2. 手順 1 で送信された差分データを元の事業所データで取り込みます。

2. 《弥生会計 12》元データを弥生会計 12 へコンバート

分散入力用データを取り込んだ元データを、弥生会計 12 へコンバートします。コンバート手順は「旧製品データのコンバート」(P29)を参照してください。

3. 《弥生会計 12》コンバート後のデータで分散入力用データを作成

コンバートした事業所データを開き、次の作業を行います。分散入力の操作手順は、『操作マニュアル』を参照してください。

1. 分散入力用データを作成します。作成した分散入力用データを、分散入力を行う支店や事業所に送ります。
2. 支店では、受け取った分散入力用データを弥生会計 12 に取り込みます。取り込んだ分散入力用データで仕訳入力を開始できます。

3

プログラムの修復と削除

弥生会計のプログラムの修復と削除について説明します。

1 プログラムの修復と削除	36
---------------------	----

1 プログラムの修復と削除

弥生会計または付属プログラムの修復(再インストール)と、ハードディスクからの削除について説明します。

1-1 弥生会計または付属プログラムの修復

弥生会計の動作が不安定になった場合などは、次の手順で弥生会計を再インストールして修復することがあります。「導入アドバイザー」、「MoneyLook for 弥生」、「ライセンス認証管理ツール」も同様の手順で修復できます。

修復を行うことで事業所データが削除されることはありません。プログラムの修復後、そのままご利用いただけます。



弥生会計の事業所データは修復されません

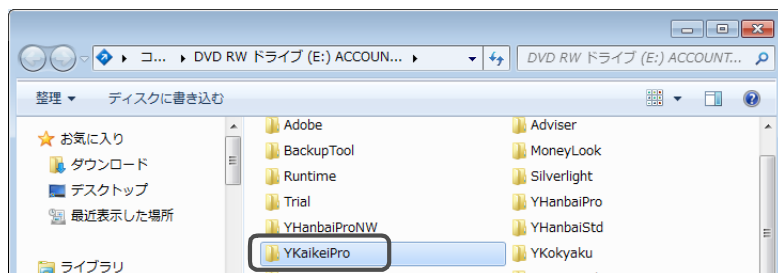
弥生会計のプログラムの修復では、作成した事業所データを修復することはできません。

弥生会計または付属プログラムを修復する

1. 起動しているすべてのプログラムを終了します。
特に、常駐プログラムが動作していると、正しく修復できないことがあります。
2. DVD-ROM ドライブに弥生会計 12 の DVD-ROM をセットします。
[弥生会計 12 インストールランチャー]が表示されます。
3. [このメディアを開く]ボタンをクリックします。



4. 弥生会計プロフェッショナルの場合は「YKaikaiPro」-「Kaikai」、
弥生会計スタンダードの場合は「YKaikaiStd」-「Kaikai」、
やよいの青色申告の場合は「YKaikaiBlue」-「Kaikai」をダブルクリックします。
「Kaikai」フォルダーが表示されます。
次のツールを修復する場合は、「YKaikaiPro」(または「YKaikaiStd」、
「YKaikaiBlue」)-「Kaikai」ではなく、各ツールのフォルダーをダブルクリック
してください。
 - MoneyLook for 弥生を修復する場合
「MoneyLook」をダブルクリックしてください。
 - 導入アドバイザーを修復する場合
「Adviser」-「Kaikai」(やよいの青色申告の場合は「Adviser」-
「KaikaiBlue」)をダブルクリックしてください。
 - ライセンス認証管理ツールを修復する場合
「YNinsyo」をダブルクリックしてください。



5. 「Setup」をダブルクリックします。
「MoneyLook for 弥生」の場合は、「mlyysetup」をダブルクリックします。
6. 「よろこ」画面が表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。
7. 【修復】を選択して、「次へ」ボタンをクリックします。



8. 修復の確認画面で、「インストール」ボタンをクリックします。
9. 弥生会計 12 の修復が完了したらウィザードの完了画面が表示されるので、
【完了】ボタンをクリックします。
10. DVD-ROM ドライブから DVD-ROM を取り出します。

1-2 弥生会計または付属プログラムの削除

「弥生会計」や「所得税確定申告モジュール」、「導入アドバイザー」、「MoneyLook for 弥生」、「ライセンス認証管理ツール」をハードディスクから削除する場合は、次の手順で行います。



弥生会計の事業所データは削除されません

事業所データの削除については、弥生会計のプログラムを削除する前にヘルプを参照してください。

所得税確定申告モジュールについて

所得税確定申告モジュールとは、青色申告決算書(または収支内訳書)、所得税確定申告書Bを作成する機能で、弥生会計と一緒に使用されます。別プログラムとしてインストールされているため、弥生会計とは別に所得税確定申告モジュールのアンインストール(削除)が必要です。



弥生会計を削除する前の注意

弥生会計を削除する前に、必ずライセンス認証の解除を実行してください。ライセンス認証の解除を行う前に弥生会計を削除すると、別のコンピューターで弥生会計を使用できなくなります。弥生会計を別のコンピューターにインストールする場合や、お使いのコンピューターを廃棄する場合、コンピューターをフォーマットする場合は、必ずライセンス認証の解除を行った後、弥生会計を削除してください。

→「ライセンス認証の解除を行う」(P21)



弥生会計または付属プログラムを削除する

1. 弥生会計を削除する場合は、ライセンス認証を解除します(P21)。
「導入アドバイザー」、「MoneyLook for 弥生」のみを削除する場合は、ライセンス認証の解除は必要ありません。
2. 起動しているすべてのプログラムを終了します。
3. Windows の[スタート]ボタンをクリックしてスタートメニューを表示し、[コントロールパネル]をクリックします。
4. [プログラムのアンインストール]をクリックします。
Windows XP の場合は [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

5. 表示されるプログラムの一覧から[弥生会計 12](または[やよいの青色申告 12])をクリックして選択します。

次のツールを削除する場合は、[弥生会計 12]ではなく、各ツールを選択してください。

- 所得税確定申告モジュールを削除する場合
[所得税確定申告モジュール]を選択します。
- 導入アドバイザーを削除する場合
[弥生会計 12 導入アドバイザー]を選択します。
- MoneyLook for 弥生を削除する場合
[MoneyLook for 弥生]を選択します。
- ライセンス認証管理ツールを削除する場合
[ライセンス認証管理ツール]を選択します。

6. [変更](または[アンインストール])ボタンをクリックします。

7. 「よろこそ」画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックします。

MoneyLook for 弥生の場合は、アンインストールするかの確認メッセージが表示されるので[はい]ボタンをクリックします。MoneyLook for 弥生が削除されます。

8. [削除]を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



9. 削除の確認画面で、[削除]ボタンをクリックします。

10. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



弥生会計のDVD-ROMを使用して削除する

弥生会計の削除をコントロールパネルから行えない場合は、弥生会計 12 のDVD-ROMを使用して削除を行うことができます。

DVD-ROMを使用して削除する場合は、ライセンス認証を解除してから(P17)、「弥生会計または付属プログラムの修復」(P36)の手順に従って弥生会計のインストーラーを実行し、手順 7 で[修復]ではなく[削除]を選択して処理を続行します。

弥生会計 12 (プロフェッショナル/スタンダード) やよいの青色申告 12 インストール・コンバート マニュアル

- ・初版 2011年10月17日
- ・発行所 弥生株式会社
〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町17番地
SIA 神田スクエア
<http://www.yayoi-kk.co.jp/>
- ・ご注意
 - ① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
 - ② 本書の内容に関しては訂正・改善のため、将来予告なしに変更することがあります。
 - ③ 落丁、乱丁はお取り替えいたします。

Copyright © 2011 Yayoi Co., Ltd. All rights reserved.